三建でこんごは災害死

坑外に上ったばかりの後藤宇一さん

今年になってから三井三池炭鉱では重大災害が打ち続いている。五日に三川鉱で、新労組員の斉藤忠雄さん（四四才）が、炭車に頭をはさまれて即死。その翌日にはまた一新労組員が右脚を切断する重傷。

そしてこんどは、三井建設の新港町作業所で、同社従業員の後藤宇一さん（四九才。荒尾市緑ヵ丘社宅鶯町百十一棟）が、不意の災害のため犠牲となった。

後藤さんは負傷したため、たしか一月に坑外労働に移ったばかりらしく、三建倉庫の仕事をしていたとか。

負傷したのが去る二十二日の午後五時頃で、死亡時刻は翌二十三日の午前二時頃だったらしい。

三井鉱山は「他社のことで……」と言明を避けたというが、作業中階段から落ち頭を打ったのが真相と見られている。

とにかく三井三池のやまやまを包む一九七三年の雲ゆきは暗い。

四山鉱で〝重大事故〟

停車中の人車に炭車追突

去る二日午後二時二十四分ごろ死者さえださなかったものの、四山鉱（前村正一鉱長）で「あわや！」と、おどろかせる重大災害が発生、三池労組は今年になってから事故・災害が打ち続いている事態を黙視できず、会社に対し厳重に抗議するとともに、いそぎ保安対策の強化策をとることを強く要求した。

事故発生場所は、四山鉱の坑内からおよそ三千メートルほども入った坑道。

ちょうどその場に停車していた人車に、不意に炭車が追突してきた。

同人車には、その時五十五人の労働者が乗っていたから危なかった。さっそくそのうちの三十八人は昇坑したものの、六人から十九人ばかりも、大量のムチウチ症にかかっていると見られている。

この場所は、同鉱の五百二十メートル坑道の十五目抜き。ちょうど、冷凍機座の前辺り。

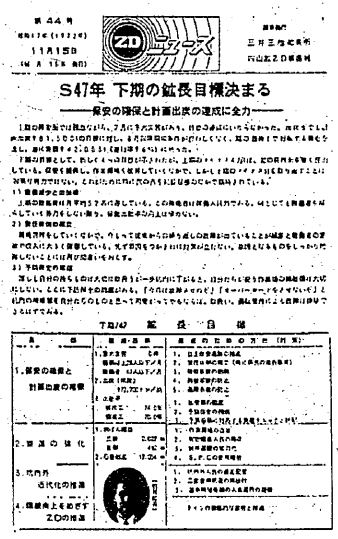
二番方で入坑してきた人びとが乗った人車（十一両編成）が、一番方の仕事を終わって昇坑するため乗っていた人車がホームに停車したのでやむなく停車した。そこへ、いきなり炭車が追突してきたのである。

入院するまでにはないというが、果たしてどうか。後遺症を考えて十分の手当てが施されたかどうか。将来に残る不安は大きい。

四山鉱では気違いじみた〝ZD運動〟が強行されていて、巧みな言葉でつりながら労働者をうまく生産性向上運動にまきこんでいる札つきの鉱。

そのため職制は、この追突事故でとかくの異状を感じながらつい休もうとする人びとを訪問しては〝出勤督励〟まで行なうという徹底ぶり。「とにかく、何もしないでもよいから、保安部までも出勤してくれ」というので、俗に〝保安部あずかり〟のその手である。果たして許されることか。

こんどの追突事故、その後の四山鉱の動きは職場に命をあずけて働く労働者の前に、重大問題を投げかけている。



四山鉱が、特に新労組員をまきこみながら進めているZD運動のパンフ。

週休二日の国

▼…組合員の皆さん、知っていますか。次は〝週休二日制〟の国々です。

アイルランド、オーストラリア、オランダ、スイス、スウエーデン、デンマーク、西ドイツ、ノルウエー、フインランド、ベルギー、イギリス、アメリカ、カナダ、ニュージランド。部分的にイタリア、フランス。

私の——二の舞いしないで

東京　石井幸子

四月の病休から始まり、休職になり始めてもう九カ月、こんなに永くなるとは思ってもいませんでした。

でも治療のおかげで何もしないでぼんやりしている時には痛みを感じなくなりました。

しかしいまでも家事をする時は休みながらしなければなりません。六畳一間に掃除機をかけるのに、何回手が痛くなり、肩が痛くなって休むのかしら。

二人分の食器を洗う時、洗濯物を干す時、痛みを感じなくなるのはいつのことなのでしょうか。

自分の子供の着る物ぐらいは編んであげたいと思っていたのに、靴下一足も編めないなんて、もうじき母親となる喜びまで奪われてしまいました。

痛くなり始めた頃は、他の人もこの位は感じているんだろうな、我慢しなくちゃ…。

痛いな——、でもまだ大丈夫……。もう駄目休ませてもらおうかしら、でもサボってなんていわれないかなど。

でも治療といったら湿布とマイクロウエーブテラピーしか受けられず、周囲の目を気にしているうちに、どうとうどうにもならないこんな身体になっていたのです。

現役のパンチャーの皆さん、私の二の舞いは、しないで下さい。軽いうちに治療すればそれだけ早く治るそうです。

馬鹿なヤセ我慢がこの先何年、自分自身を苦しめるのか……。一つしかない身体です。大切にして下さい。

×

右の石井さんの文は、全電通東通支部東京料金局分会が発行した〝生命と健康を奪う恐るべきパンチャー病〟というパンフレットに掲載されていたものです。

三池炭鉱は日本一？

地域新聞〝宮浦〟の記事

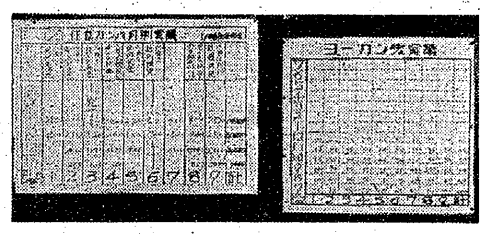
最近、閉山鉱から三池への来山者が多い。伊王島、豊州、古賀山、二瀬、明治佐賀など。

その人たちの中には閉山鉱をわたり歩いた人もおるが、話を聞いてみると三池の者にはびっくりすることが多い。

サイドダンプやパンマが旧式とか人車がガタガタでスピードが遅いとか、そういうことは、われわれ労働者には関係ないが、労働条件や福利関係など、三池よりすばらしい所が多い。

三菱古賀山だったかと思うが、そこでは高年令者は基本給がものすごく高く、停年前は採炭などせずポンプ当番など軽作業についている。

直接夫でも一時間の休憩時間は十分にとり、保安の点でも、枠の当り付けなど雑なことはやっていなかったし、組合の力が強く、たびたび入坑して目を光らせていたそうだ。三池のように人事横暴でなく、われわれが彼等をくわせているんだと皆なが自覚していた。



宮浦指導部に貼られていたCOカンパなどの実績表

宮浦指導部のCO活動から

宮浦指導部ではCOカンパ、ヨーカン販売活動を取り組んでいるが、カンパで早くも三と六の両分会が去年の十二月現在で目標を貫遂、またヨーカン販売も着実に伸びている。何といっても努力の実り。なおカンパは三万八百円（十二月現在）に達している。

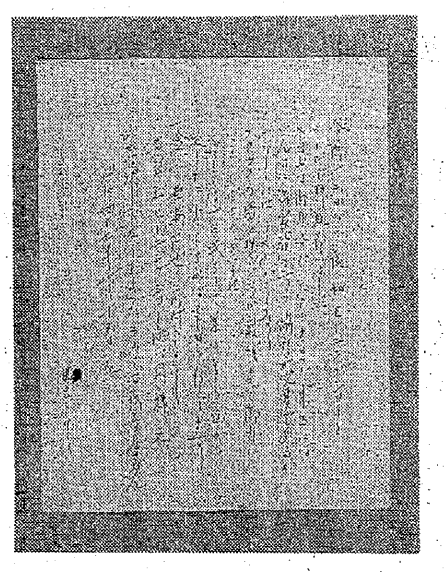
三池の者は働きすぎる。そのうえ賃金は安く、労働条件は悪い。電灯料金は、たしか二五〇キロまで無料（端島）といっているし、ペンチなども無料で支給されていた、等々、非常に興味のある話をよく聞く。いまここに書いたのは他の山すべてがそうでないし、どこの山がどうだったとは、はっきり記憶はしていないが、他の山には、たしかに三池よりはるかにいい労働条件を勝ちとっている所があるのは間違いない。

よく三池は、日本一の炭鉱だといわれるし、私もまた、日本一だと思っていた。それで労働条件なども三池は離島や、山の中の炭鉱よりもすぐれているだろうと思っていた。ところがまるで話を聞いてみると逆である。

また、三井山野にもいったという人は、山野が一番悪かったという。やはり三井はどこも悪いようだ。

こんな話は多くの人が聞いていることである。そこで組合としても、どこの山がどうだったとはっきりした情報としてキャッチして三池は他山よりこんなに遅れているというビラなどをだして、眠っている人々を呼び起こすべきではなかろうか。

H生記



〝匿名〟の方からの便り

有り余ったお金では——御座いませんけど

奈良和モーニングショーを見て

匿名の方から一万円のカンパ

去る十六日の朝のテレビが、全国に思わぬ波紋を投げかけた。

〝NET局〟が毎朝放映を続けて来ている〝奈良和モーニングショー〟が、三池のCO中毒患者の実態と、抜きさしならぬその問題点を、テレビを通じて追及したからである。

この朝の同モーニングショーの計画は、三池の患者代表が、当局の労働省からやって来る労災補償関係の担当官と親しく会って、実状を訴える仕組みだったのに、労働省側からはついに姿を現わさずじまいとなり、かえって全国的な怒りをかう結果となった。

三池から上京した患者代表、沖克太郎さん（三川指導部長）、上田止さん（長期療養患者）、中川明さん（昨年三月労災補償を打ち切られた十九人の患者の一人）の三人の訴えばかりが、ブラウン管を通して、全国民の胸に痛切に響き渡ったのである。

このため東京都民の間からは、労働省への激しい抗議（中にはたまりかねてかけこむ人もいた）が打続いたが、このほど奈良和モーニングショーから三池労組に、一通の思いがけない為替が送ってきた。見れば、同番組を見てすぐその日のうちに東京都の〝一区民より〟として、多額の一万円が同モーニングショーを通じ三池によせられたもの。

「今朝十六日の奈良和モーニングショーを、テレビで拝見しました。不自由な御身体で、スタジオまで来るにはどんなに、御家族の方の協力が必要であるか、わたくしにはよくわかります。

スタッフの皆々様、どうか最後まで御力になってあげて下さいませ。

わたくしは都の一区民として、差少ながら何かの足しにして下されば幸せに存じます。

一金壱万円也、同封しました。これは決して、有りあまったものでは御座いません」

〝匿名より〟とあるので、お礼の申し上げようもないが、せめて命を守る闘いをいっそう正しく強めてゆくことでお礼としたい。心からの感謝をこめて……。

×

なお、〝奈良和モーニングショー〟は、東京都港区六本木六—四—一〇、NETテレビ局。

なお、全国の仲間の皆さんから寄せられてくる便りを、この欄で紹介し合いましょう。